

(様式2)

令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	42
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	医学部・医学科
授業科目名	医師の仕事	担当教員名	古川 勝敏
開講期間	令和6年8月17日	開講曜日・時間	土曜日・10:00 - 11:10
受入人数	90名	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける) ②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
授業の目標等	医師の仕事はどのようなものでしょうか？病気になった患者さんの病気を治すことでしょうか？でも医師の仕事はそれだけではありません。医学部を卒業して医師免許を取っても全然患者さんを診ない医師も沢山います。この授業では医師の仕事、働き方について皆さんの知らないことも色々とお話します。		
授業内容・計画等			
テキスト・教材・参考書等	特にありません。		
履修上の注意	特にありません。		
高校生へのメッセージ等			

		科目No.	43
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	薬学部・薬学科
授業科目名	調剤学 -薬の剤形-	担当教員名	林 貴史
開講期間	令和6年8月17日	開講曜日・時間	土曜日・11:20 - 12:30
受入人数	90名	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける) ②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	<input checked="" type="radio"/> ①対面のみ <input type="radio"/> ②オンラインのみ <input type="radio"/> ③対面・オンラインどちらでも可		
授業の目標等	<p>流通している薬(医療用医薬品)には、錠剤、カプセル剤、シロップ剤、注射剤など、いろいろな「剤形」があります。他にも薬にはどのような剤形があるのかを学びます。そして、乳幼児や小児、高齢者、目の不自由な方、飲み薬の飲み込む力が弱い方といった、さまざまな状態にある患者さんが薬剤を適切に使用して早くつらい症状を改善するために、薬剤師にはどのような役割が期待されているのかを学びます。</p>		
授業内容・計画等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤を使用する患者さんの多様性 2. 薬の剤形 3. 質疑応答 		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキスト・教材は特にありません。 厚生労働省「日本薬局方」ホームページ 第十八改正日本薬局方 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000066530.html 「通則～一般試験法[PDF形式:24.353KB]」をダウンロードすると、この中に「製剤総則」の「[3]製剤各条」という項目があり、さまざまな薬の剤形が記載されています。興味がありましたら、参考に見てください。</p>		
履修上の注意	<p>授業の中で質問時間を設けます。質疑応答の時間以外でも、躊躇なく質問していただければ幸いです。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>処方箋に薬剤名や薬剤の使い方を記入することを薬剤の「処方」といいますが、これは医師のみが行える行為です。医師が作成した処方箋をもとに、薬剤師は患者さんが適切に薬剤を使用することができて薬剤の効果を最大限に引き出せるかどうかを確認します。場合によっては、薬剤師が医師に処方内容について質問したり、さらに最適化することを提案したりします。この授業では、処方の最適化の中でも薬の剤形に着目し、患者さんの状態にあわせた服用しやすい剤形について学びます。</p>		

(様式2)

令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	44
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	医学部・医学科
授業科目名	神経外科学	担当教員名	遠藤 俊毅
開講期間	令和6年8月17日	開講曜日・時間	土曜日・13:30 - 14:40
受入人数	90名	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける) ②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
授業の目標等	脳神経外科手術の実際について理解する。		
授業内容・計画等	顕微鏡を使用した脳神経外科手術の世界を紹介します。		
テキスト・教材・参考書等	特にありません。		
履修上の注意	特にありません。		
高校生へのメッセージ等	是非、脳神経外科医療の実際にふれてみて下さい！		

令和6年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	45
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	薬学部・薬学科
授業科目名	薬学部でなぜ環境汚染物質を学ぶのか	担当教員名	黄 基旭
開講期間	令和6年8月17日	開講曜日・時間	土曜日・14:50 - 16:00
受入人数	90名	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①~③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	我々は、環境汚染物質や食品添加物など、健康に好ましくない影響を与える可能性のある化学物質に常に曝されながら生活をしています。その中、環境汚染物質が人間の健康に与える影響を明らかにし、さらに、それを予防・治療する方法を開発することも薬学研究者の重要な役割の一つです。本授業では、我々が日常生活で接している環境汚染物質の有害性(ヒトへの悪影響)及び対策に関して、正しい知識を身につけることを目標とします。		
授業内容・計画等	人々に重篤な健康障害を与える環境汚染物質(メチル水銀やカドミウム)による食品汚染を例にとり、薬学部での環境汚染物質研究の重要性を解説します。		
テキスト・教材・参考書等	テキスト・教材:特にありません。 参考書:毒性の科学、東京大学出版社、熊谷嘉人他		
履修上の注意	特にありません。		
高校生へのメッセージ等	環境汚染物質は、その物理化学的性状(固体、液体、気体など)や化学形態(無機物、有機物など)により、毒性発現様式や標的臓器が異なります。この授業をとおして、環境汚染物質の特性や曝露量などに関する正しい知識や科学的なものの考え方を学んでいただきたいと思います。		